

「祝福の秘訣」  
～神様との約束を果たす～

(士師記 16:4～31)

人間は次の5つの条件が揃っていれば幸せと感じられると言われています。①水・空気・安心して住める土地②教育③予防を含めた医療④食糧と安全⑤文化。しかし皆さん、これらの物があって当然になっていませんか？これらの事に毎日感謝しているのでしょうか？私達の生活はこの5つの条件が当然の事、あって当たり前くらい幸せな生活を送っています。豊かすぎる上に今与えられているもの以上に豊かになろうとし、その結果人間は自分の体すら物に頼り自分で守ろうとしなくなっています。これは外的な事だけではなく私達の内面も同じです。神はそのような私達に自分の心を守って欲しいと願っておられます。私達は物事を得るまでは真剣に得ようとし、しかしいったん得ると失うことを忘れてしまいます。何かを行う為に必要を求めるとは良いのですが足りなさゆえに不足に目が向き「もっと」と求めているなら危険です。なぜなら不足ばかりに目が向いていると既に与えられているものに目が向かず悪魔にそれを狙われている事にも気づけないからです。あなたにとって必要なものが奪われない為に私達は今与えられているものをしっかりと認識し、これから歩んで行く上で自分には何が何を判断しなければなりません。今あるものに対して不足も求めるのではなく、これから神と歩む上で必要を求めてもらいたいのです。一見同じに思えますがプロセスが違います。人と比べればあなたより豊かな人はいるでしょう。しかし神は今のあなたに最良のものを与えておられます。不足に目が向くと言う事はそのものに執着しているということです。執着していると奪われます。今与えられているものは主のためにしっかりと用い、その上で必要を求めて下さい。神はあなたにこれからさせようとする事を用意されています。そして何をさせたいのか必ずあなたに見せます。ですからあなたの欲からではなくあなたに必要を求め受け取り、不必要なものは削らなければなりません。その為に自分の弱さを認識する必要があります。あなたは自分の弱さを知っているでしょうか？そしてあなたは約束を守るほうですか？それとも破ってしまいますか？自分の弱さを知らないとこの質問の答えも曖昧になってしまいます。この約束、今日は人に対してではなく神との約束をあなたは守れているか見ていきましょう。聖書の士師記にサムソンというナジル人のお話が出てきます。ナジル人とは「奉げられた者」「聖別された者」を意味します。サムソンの母は不妊で、母が子を授かる際の神との約束としてサムソンはナジル人として民を守る為に力を与えられた子どもでした。ナジル人と神との約束の一つに聖別の期間中、髪を切らない事という約束がありました。敵であるペリシテ人はどうかしてサムソンの力を奪う事を考えていました。そこで遊女のデリラをサムソンに近づけどうしたら力を奪えるか聞き出すように仕向けたのです。デリラとは「誘惑」を意味します。サムソンは誘惑に任せてはならない事を行いました。その結果、デリラに自分の秘密を全て打ち明けてしまい、神から与えられた力を失ってしまったのです。誘惑に任せた生活の中でサムソンは神から離れてしまいましたが、最後の最後にもう一度神に立ち返ります。そして力を取り戻し、結末は士師としての役目を果たして亡くなります。してはならない事を繰り返し、大切なものを失ってしまう、私達が陥る誘惑の姿に似ていないでしょうか？サムソンと同じように私達にも神と共に歩む為の約束があります。その中でも特に大切なものがいくつかあると思います。約束を忘れていたら思い出し何の為に約束を果たすのかをしっかりと知っておく必要があります。「まあいいか」「少しくらいなら」と誘惑に陥ってはいませんか？サムソンは誘惑に任せる生活の中で神が出てこなくなりました。あなたはそうならないでしょうか？「決めた事ができない」「すべき事がわからない」そのようになっていないでしょうか？イエス様が荒野で悪魔の誘惑と戦った時、イエス様は石をパンに変えられる力は持っていましたが、悪魔からの誘惑だったのでそれをしなかったのです。あなたに誘惑が来た時、神との約束を見出し、守ることができているでしょうか。あなたに対して悪魔は日々の小さな誘惑から最終的に大切なものを奪おうとします。祝福を失わないために**①あなたの弱さを知り注意する**。サムソンも自分の弱さは知っていますが、その弱さに至るまでのもう1つの欠点を知らなかったのです。あなたも神から離れると祝福を失ってしまうことは知っているでしょう。しかし、そこに至るまでの弱さを知っておく必要があるのです。だからこそ、あなたの弱さに目を向けて知って下さい。「弱い者でも強いと言える」あなたの弱さを責め立てようというのではありません。弱さにこそイエス・キリストが表されるのです。「私の恵みはあなたに十分である」ということをしっかりと目に留めておくために、誘惑に陥らないよう、自分の弱さをしっかりと神に願って下さい。その弱さがあなたの大きな問題になっていないことが1番の問題なのです。これがもっと大切な根拠を壊しかねない悪魔の誘惑材料なのです。だからこそ弱さをしっかりと知っておいて下さい。悪魔は小さいところからついてきます。約束を果たし実践する。特に男性はこの約束を果たしていく責任があります。神は責任を果たす責任を与えておられます。そしてパートナーである女性はその責任を果たせるように支えるようにしていきましょう。約束を果たす為に弱さを知り注意しましょう。**②神様との約束を絶対に忘れてはなりません**。約束は必ず思い出して下さい。その約束は生きています。絶対に消えません。約束が果せているか神に聞いて下さい。のど元すぎれば熱さを忘れるではいけません。神と共に歩むと決めたなら心が離れていないかしっかり判断して下さい。神は命がけで約束を果たされたのです。思いがあるだけでは意味がありません。果たす事が大切です。**③神の為に用いる**。神の計画はあなたの為でもあり神の為でもあります。なぜならあなたと神は一心同体だからです。今与えられているものをどれだけ用いているでしょうか。神とともに良い働きをしているでしょうか。生きてい中で行っている事全てのは神とあなたのもです。サムソンの人生の大半は約束を破る人生でしたが最後に立ち返ったサムソンに神は愛をもって応えました。これが聖書の素晴らしさであり神の愛です。神から与えられる祝福には必ず私達が果たすべき約束があります。(申命記28章)あなたの弱さを見つけ、約束を果たしましょう。